



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2018年(平成30年)6月15日号 No.1762

目次

■ ロシアの工業団地・経済特区ランキング2018	1
■ エトセラ	6
日本トルクメニスタン・ビジネスフォーラムのご案内/6	
■ 統計速報	7
2018年1～5月のロシアのブランド別乗用車販売台数/7	
■ トピックス	8
JOGMECがSOCARと協力覚書を初締結/8	
ウクライナで下水処理場改修工事を受注/8	
JFEスチールがロシアと原料炭売買契約更新/8	

ロシアの工業団地・経済特区ランキング2018

はじめに

ロシアのエキスパート誌が2017年に引き続き、第2回目となる工業団地と経済特区の全国総合ランキングを発表したので、本速報ではそのランキング概要をお伝えする。第1回目と異なり、本年度のランキングは公開情報のみを元に作成された。

①運営サービス、②立地、③諸要素のコスト、④優遇措置、⑤入居企業への対応、⑥地域指数からなる6つのグループに分かれた評価指数による得点を合算してランキング付けがなされ(最大得点は46)、本年度は全部で84カ所の工業団地・経済特区・テクノパークがランクインした。ランクはAA～Cの5つに分かれ、AAランクが「投資家にとって最大限に魅力的」、Aランクが「有能で魅力的だが、固定費が高くつく、優遇措置の不足など制限がある」、BBランクが「十分に魅力的だがサービス・インフラ面で改善の余地がある、また開発が中レベルの土地にある」、Bランクが「魅力は中の下レベルだが発展途上にある、あるいはインフラが整っておらず真剣な改善がなされなければ投資を呼び込めない」、Cランクが「能率が低くあまり魅力のない、改善には多額の投資が必要とされる」工業団地・経済特区・テクノパークである。

第1位～第3位までは前回と同様の結果だが、プロジェクトの増加や入居企業の活発化により競争が激しくなり、順位の入替わりが見られる。新しくランキング入りした工業団地・経済特区・テクノパークについては色付きで示した。